

[ト ッ プ メ ッ セ ー ジ]

THKの環境への取り組み

環境問題と 企業活動

地球環境の問題、殊に温暖化問題については、この星に生を得てその恩恵に浴する我々人間にとっては重大な問題であります。特に高度な文明を築き上げてきた先進諸国にあっては、歴史上かつて無い大量のエネルギー消費社会を作り上げ、このような産業構造を維持し続けるならば、取り返しのつかない事態を招く危険性があります。そこで、これからは意識的に省エネルギーに努め、かつ再生可能なエネルギーへの切り替えを図っていく必要があります。

我々企業活動においても、従来科学技術の進歩とともに、利潤の追求、豊かな社会の実現を第一価値にしてまいりましたが、この活動は同時に環境への十分なる配慮を伴うものでなければならないという条件を付加されました。THKも最適地生産をめざして、日本、米州、欧州およびアジアの4極に製造拠点を置いて拡大を続けておりますが、自ずから環境への影響も増大しております。よって、この温暖化問題には正面から取り組んでいかなければなりません。

一方、THK製品についてみれば、LMガイドをはじめとする直動製品は、すべて省エネルギーに多大な貢献ができるという幸運に恵まれております。例えば、LMガイドを使用することにより、従来のすべり部品に比べてエネルギー使用量は約10分の1に削減できます。

このことは、THK製品をお使いいただく工業製品が増えることにより、省エネルギーも飛躍的に実現できるという関係にあります。

THKは、『世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する』という経営理念のもとに、自社の事業活動にあつては勿論のこと、THK製品をご使用いただくお客様とともに、省エネルギーに貢献してまいりたいと切に願っています。

省エネ推進委員会の 新設

さて、THKでは、生産活動における業務の合理化であるTAP2*活動等に取り組んでおります。TAP2では、ジャストインタイムも取り入れ、可能な限りの無駄の排除をめざしており、「モノ」(資源)や「エネルギー」の使用量を必要最小限に抑えることを追求しております。

TAP2は、生産性の向上をめざす中で、省資源、省エネルギー、廃棄物の極少化等の副次的な効果をもたらします。しかし、これらのみでは、現在の課題である地球環境の維持改善にはまだまだ不足です。そこで、今年度は、本社に省エネ推進委員会を設け、かつ工場にも省エネ推進会議を置いて、さらなる省エネルギー活動に取り組んでまいります。

※ TAP2 : THK Advantage Program の略 TAP1 (営業部門)、TAP2 (生産部門)、TAP3 (間接部門) がある

省エネルギー製品でも 環境に貢献

THKのLMガイドやボールねじは、精密位置決めが求められる半導体製造装置、高剛性・高速性が求められる工作機械や産業用ロボット等の生産設備、軽量・高剛性を生かし省エネルギーにも寄与する自動車部品等によって、環境に貢献をしておりますが、ダイレクトに省エネルギーにも寄与する製品の開発をめざして、電気自動車の開発への参加や、風力発電装置の試験開発等も行っております。今後とも、THK製品が環境に配慮した新規分野において多数、採用いただけるよう、市場や用途の開拓に積極的に貢献してまいります。

最後に、環境問題は、企業にとってコスト負担という負の側面もありますが、逆に考えると、技術革新のためのモチベーションとして、特に日本企業にとっては大きなチャンスだと考えております。今までも日本企業は、公害問題やオイルショックの経験を経て、高度な技術や革新的な製品を生み出してまいりました。今回も省エネルギーや自然エネルギーの分野では、世界から高い評価を得られる技術や製品を生み出すことができると考えます。THKも、この分野で応分の貢献ができますよう、今後とも積極的に提案をしてみたいと存じます。



THK株式会社
代表取締役社長

高橋 隆博